



打田区内の速度制限看板



上田 毅 議員
(一 新会)

打田区内通行規制を

○ 府道生駒井手線区内道路のゾーン30の徹底化、並びに運送トラックを除く大型タンクカーの通行時間制限を設けるべき。区民の安心・安全につながることを目的として府並びに警察に対して強く働きかけるべきである。

(建設部長) いたいたいという要望、意見等を踏まえ、改めて交通管理者へ要望したいと考える。

○ 近年、中学校でのいじめが減少したと聞けが、小学校におけるいじめが多発していると聞く。本市の現状を問う。

○ 中学校におけるいじめ問題の現状を問う。

○ いじめ問題に対し、小学校及び教育委員会の対応は、

(教育部副部長) ①④平成26



会議室を利用してストレッチをする
女性フィットネス教室(中央体育館)



南部 登志子 議員
(無会派)

公園プール利用促進を

○ 市民プールと体育館の利用促進。○ 両施設を相互利用できる定期券の発行を。○ 更衣室やトイレ等の修繕、ダンス専用スタジオを設置するなど環境の改善を。また、真夏の利用時対策として体育館に空調設備の設置を求める。

○ 平成28年度から施行される障害者差別解消法に基づく施設および施設周辺の改善を。

(教育部副部長) ⑦今後の研究課題。○ 施設修繕は随時対応している。専用スタジオは現在利用している会議室で対応。空調設備は移動式送風機設置の検討を進めている。○ 今後も充実に努めていく。

○ 乳幼児子育て中の母親が長期入院したときこそ、行政の支えが必要。一時保育ではなく、すぐに保育所に入

所できるように手続きの簡素化を求める。同時に、利用者の自宅を基本としたファミリーサポートのあり方を工夫せよ。

(健康福祉部長) 保育所への入所は状況に応じて柔軟に対応。ファミリーサポートは援助会員の自宅が基本であるため、ほかの事業で対応できないかなど、相談には丁寧に応じる。

○ 普賢寺小学校の課題。

○ 天王地区ではスズメバチの襲来や不審者出没の急増など通学時の安全確保が難しくなっている。スクールバスの活用を求める。○ なのはな委員会で学校給食に普賢寺米使用の強い要望があった。見解は、

(教育部副部長) ⑦考えていない。○ 京田辺市産でヒタミ強化米入りの無洗米を使用している。今後研究する。

年度では小学校で633件、中学校で86件。報告には、冷やかしく・からかい・悪口・軽くぶつ・遊ぶふりをしている等、叩くなどあった。

○ 校内いじめ対策委員会を月1回開催し、早期発見・対応を図っていく。

○ 空き家対策並びに、空きマンション対策として、民泊の規制緩和及び条例制定を提案する。本市では宿泊施設がないため観光客集客並びにイベント開催時の空き家及びマンション経営補助として、民泊を可能とする規制緩和及び条例制定の検討をするべき。

(市長) そのままの意見をいたしたので、十分念頭に置きながら考えていきたい。



プロロジスパーク京田辺の完成イメージ



鈴木 康夫 議員
(一 新会)

プロロジスの渋滞対策は

○ 世界的な大手物流会社プロロジスが本市に進出することが決定した。開業は平成30年で、年間約2億5千万円の税収と約500人の雇用をもたらすことは、本市にとって朗報である。しかし、市民の間では、北部地域の交通渋滞が一層深刻になるのではという不安もある。本件に対する市の所見と対策を求める。

(建設部長) 事業者であるプロロジスが、27年11月の平日と休日、周辺道路の交通量調査を行った結果、新たな渋滞は発生しないと予測した。しかし、新名神高速道路の側道を代替ルートとすること、配車計画のコントロールを行うことなどを指導している。

○ 松井山手駅周辺では、モール構想、温浴施設、駅前

商業ビルが計画されているが、その進捗と指導内容を問う。

(建設部長) 商業モールと温浴施設は、京阪が計画中であり、本市としては、歩行者の回遊性、自動車のアプローチ方法、駐車台数確保など交通対策を中心に協議している。駅前商業ビルも、交通安全に関する指導を行っている。

○ 山手南二丁目160戸の開発に対する指導内容は、

(建設部長) 松井山手地区地区計画に掲げている、閑静で潤いのある良好な居住環境が形成されるよう、地元の見解も伺い、指導している。公園の確保は土地区画整理事業により、地区全体で3%という基準をクリアしているが、南北に横断する緑道の整備に配慮するよう指導したい。



渋滞する都市計画道路松井大住線



市田 博 議員
(一 新会)

北部地域の渋滞緩和策は

○ 職員が持つ潜在能力をどう引き出すのか。将来を見て、どのような施策が必要なのか。将来の京田辺のために、市民と一緒に汗を掻く覚悟が必要と考えるが。

(市長) 各部署が明確な組織目標を掲げ、「使命・情熱・行動」に基づき、チャレンジ精神とチームワークを発揮して課題に挑戦する職員育成に努めている。やる気や意欲を引き出し、市民のために、まっすぐを進めている。

○ 北部地域の通勤時間帯の渋滞が著しい。山手幹線及び八幡木津線、市道となった三野松井線の渋滞緩和策を如何に対応するのか。

(建設部長) 北部の渋滞は確認しており、将来の大住工業団地の拡大に伴い、八幡木津

線にさらなる交通集中が予測されることから、都市計画道路松井大住線を四車線化に向けて府に強く要望している。

○ 財政を圧迫する民生費の伸びに対し、自主財源確保策と長期的な財政力強化、そして収支バランスを如何に保っていくのか。

(企画政策部長) 本市が持続的に発展するため、子育て世代が住み続けたいと思うまちづくりと、交通利便性を生かして、企業誘致によって新たな雇用と税収を確保し、交流人口を増やして活性化を図る。

(総務部長) 新産業の創出、あるいは企業誘致など活力ある住みよいまちづくりを進めることが、安定税収の確保につながる。一層行政改革を進めていく。